

明治時代に建てられた、北海道を代表する歴史的建造物

「赤れんが庁舎」の愛称で親しまれている北海道庁旧本庁舎は、1886(明治19)年に建設が始まり、1888(明治21)年に完成しました。1909(明治42)年には火災により内部が全焼しましたが、赤れんがの外壁は残されており、今も明治時代の面影を伝えています。その後、1968(昭和43)年には復原工事が行われ、翌年にはその歴史的価値が認められ、国の重要文化財に指定されました。さらに、2019(令和元)年から2025(令和7)年には耐震改修工事などの大規模な改修工事が実施されています。赤れんが庁舎は、北海道の歴史を今に伝え、未来へと受け継ぐ建物として生まれ変わりました。

1869(明治2)年	開拓使の開設	1911(明治44)年	赤れんが庁舎復旧工事完成
1873(明治6)年	開拓使札幌本庁舎が竣工	1967(昭和42)年	国史跡に指定
1879(明治12)年	開拓使札幌本庁舎が焼失	1968(昭和43)年	開道100年で復原改修
1886(明治19)年	北海道庁の設置、赤れんが庁舎着工	1969(昭和44)年	国重要文化財に指定
1888(明治21)年	赤れんが庁舎が竣工	2019(令和元)年	大規模改修工事開始
1895(明治28)年頃	八角塔・換気塔撤去	2025(令和7)年	改修工事完成・再開館
1909(明治42)年	赤れんが庁舎火災		



■ 開拓使札幌本庁舎[1873(明治6)年]



■ 赤れんが庁舎[1889(明治22)年頃]



■ 八角塔撤去後[1906(明治39)年頃]



■ 改修工事完成[2025(令和7)年]

赤れんが庁舎の設計の中心を担った 平井晴二郎

1856(安政3)年～1926(大正15)年
金沢市生まれ。1875(明治8)年に文部省第1回留学生として、米国に留学。当時の最新技術・知識を持ち帰り、幌内鉄道の敷設や旧手宮機関車庫・赤れんが庁舎の設計等を成し遂げました。のちに鉄道院副総裁として東京駅の建設に関わるなど、鉄道の分野でも活躍しました。



※写真出典元:「東京大学総合研究博物館」(The University Museum, The University of Tokyo)

貸室・赤れんがガーデンご予約受付中

重要文化財の気品あふれる貸室や赤れんが庁舎を望む前庭の一般利用を受付中。詳細・ご予約は「赤れんが庁舎公式ホームページ」へ

格式と重厚感を備えた特別空間
赤れんがホール



半地下に位置する落ち着いた空間
道民ベース



四季折々の自然と調和する屋外空間
赤れんがガーデン(前庭)



赤れんが庁舎公式ホームページ <https://www.hokkaido-redbrick.jp>

スマートフォンは
こちらから



赤れんが庁舎
公式Instagram



開館時間／8:45～21:00(最終入館時間20:30)

休館日／年末年始(12月29日～1月3日) 設備点検日(2025年11月16日)

住所／札幌市中央区北3条西6丁目1番地

竣工／1888(明治21)年

設計／煉瓦造、地下1階地上2階建て、八角塔屋付

設置者／北海道

建築面積／1,654.4㎡ 延床面積／5,004.3㎡

大型バス駐車場あり(3台) 1台 1,100円/1時間

入館料／一般300円 大学生・高校生200円 中学生以下無料 障がい者等無料

団体入館料(20名以上の場合)一般団体270円 大学生・高校生団体180円

お問合せ先／電話 011-206-8390 FAX 011-206-8589

contact@hokkaidoredbrick.jp

アクセス／

◎JR札幌駅南口から徒歩約8分

◎地下鉄南北線・東豊線さっぽろ駅

10番出口から徒歩約4分

◎地下鉄南北線・東西線・東豊線大通駅

2番出口から徒歩約9分



【コミュニケーションマーク】



赤れんが庁舎の「核」となる「ひとつの煉瓦」と、八角塔に旗めく北海道のシンボルである「七稜星」をモチーフにデザイン。煉瓦の中央に星を配したレイアウトは、赤れんが庁舎の腰回りに積まれた煉瓦に見られる「刻印された煉瓦」をモチーフにしています。

【北海道庁旧本庁舎指定管理者】 北海道赤れんが未来機構

北海道赤れんが未来機構:(株)北海道新聞社・(株)ニトリパブリック・(一社)さっぽろ北海道MICE振興協会(公社)北海道観光機構の4法人で構成される、国の重要文化財「北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)」の指定管理者

国指定重要文化財
北海道庁旧本庁舎



未来へ、輝く星であれ。



赤れんが庁舎
HOKKAIDO

HOKKAIDO AKA RENG

北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)建築の見どころ



■ れんが

赤れんが庁舎に使われているれんがの数は約250万個。腰回りに使われている黒っぽいれんがは「焼過れんが」と呼ばれ、防水性が高く、窓の付近などの雨のかかりやすい場所に使われています。また、様々なれんがの積み方の中で代表的なのはイギリス積みとフランス(フランドル)積み。赤れんが庁舎には、横一段に長手と小口を交互に積むフランス積みが採用されています。

■ 3連アーチ

正面玄関の3連アーチは1909(明治42)年の約11時間にも及ぶ火事の際、内部で焼け残ったものとされています。



■ 照明

赤れんが庁舎には重厚感のあるシャンデリアや照明器具が設置されていますが、これらは1968(昭和43)年の工事で復原されたものです。

■ 入館料

一般300円 大学生・高校生200円 中学生以下無料 障がい者等無料

■ 八角塔観覧のご案内

北海道の開拓の礎となった道・北3条通を一望でき、歴史のロマンを感じられる場所。
料金:1,200円(小学生以上)
1日4回(各回所要30分・最大7名)
※オンラインチケットもしくは当日館内窓口にて申込みください。

■ プレミアムガイドツアーのご案内

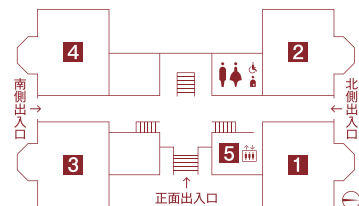
歴史や建築をより深く知ることができる特別なツアー。
料金:大人500円 小学生~大学生250円
1日4回(各回所要60分・最大15名)
※オンラインチケットもしくは当日館内窓口にて申込みください。



■ 八角塔のバルコニー

北海道の歴史と文化、観光情報の新たな発信拠点へ。

1F 地域情報と にぎわいのフロア Local information and lively activities floor



1 白い恋人 無料ゾーン
Akarenga sweets labo
「お菓子の研究所」をイメージしたISHIYAの新しい直営店。
営業時間:10:00~18:00(L.O.17:00)
※季節により19:00まで営業
※北側出入口からお入りいただけます。



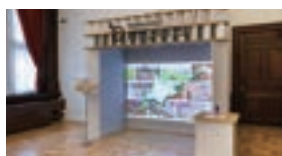
2 HOUSE.H 無料ゾーン
北海道食材を使った料理やお酒が楽しめるレストラン。
営業時間:8:45~21:00 L.O.20:30
※北側出入口からお入りいただけます。



3 赤れんがショップ 無料ゾーン
赤れんがショップオリジナル商品の他、北海道土産にぴったりなグッズを取り揃えております。
営業時間:8:45~21:00
※南側出入口からお入りいただけます。

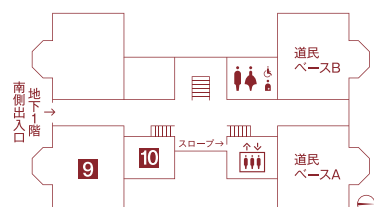


4 地域の魅力発信 I
道内179市町村の特産品・工芸品の展示のほか、雄大な自然景観をパノラマ映像でお楽しみいただけます。



5 地域の魅力発信 II
道内の179市町村の魅力と出会う体験型情報コーナー。

B1F 学びと 継承のフロア Learning and Succession Floor



2F 歴史と 文化のフロア History and Culture Floor



6 赤れんが庁舎の歴史
「長官室」「まちづくり」「建築」の3室で構成。建設当時の歴史的背景や令和の大改修の展示、歴代北海道長官・知事の執務室を再現した空間などがお楽しみいただけます。



7 北海道の遺産・文化
円形に配置した展示ケースを自由に散策しながら遺産や国宝を象徴するミニチュアの展示などをご覧ください。



8 アイヌ文化と歴史
床に広がるのは、松浦武二郎が1859(安政6)年に描いた北海道地図。約9800ものアイヌ語地名が記されています。北海道の自然の中で撮影されたアイヌ古式舞踊の映像もご覧ください。

■ 絵画

片岡球子「函館街頭風景」の他、様々な絵画が館内でご覧いただけます。



9 樺太関係資料室
戦時中等の樺太の歴史について展示



10 北方領土展示室
北方領土の概要や返還要求運動の取組を展示